

# 文化財ニュース いわき

第 63 号

平成 12 年 8 月 26 日

財団法人いわき市教育文化事業団  
福島県いわき市常磐藤原町手這50-1  
(いわき市考古資料館内)

TEL 0246 (43) 0391

## よこ やま こ ふん ぐん 横 山 古 墳 群

— 地中からよみがえった群集墳 —

横山古墳群は、いわき市平上平窪の台地上に位置しています。この台地は昔から200基以上もの古墳が点在することが知られていましたが、現在ではその多くが壊されてしまい、屋敷林や畑地の一部にその姿をとどめているに過ぎません。このたび遺跡内を通る市道を広げる工事が行われることになり、工事範囲の中を発掘調査することになりました。

今回の調査では、新しく見つかった2基を含め、全部で5基の古墳が見つかっています。その大部分は土を盛った小高いマウンド（墳丘）がなくなっていますが、地面の下から、まわりを囲む溝（周溝）と亡くなった人を埋葬した施設（主体部）が発見されています。

横山の台地には、古墳が作られるずっと以前からも人々が暮らしており、今から1万年以上前の人が使った石の道具や縄文時代の土器、弥生時代の住まいも見つかっています。



だいごうふん しゅうこう けんしゆつ き ついそうしせつ  
第4号墳の周溝と検出された2基の追葬施設



こふん こうぞう ふくそうひん  
**古墳の構造と副葬品**

横山古墳群は、<sup>えんぶん</sup>円墳と呼ばれる<sup>ふんきゆう</sup>円形の墳丘と<sup>しゅうこう</sup>周溝を持つ古墳で成り立っています。すでに<sup>な</sup>壊された古墳でも、地面の下には周溝や亡くなった人を埋葬した<sup>まいそう</sup>施設が<sup>しせつ</sup>残っています。3号墳からは、<sup>なきがら</sup>亡骸と一緒に<sup>いっしょ</sup>納められた<sup>おさ</sup>刀と<sup>かたな</sup>鉄の<sup>や</sup>矢じりが出てきました。4号墳では、周溝に埋葬された<sup>せつかん</sup>石棺も見つかっています。



にわさき のこ ふんきゆう だんめん  
 庭先に残る墳丘の断面



ふんきゆう しゅうこう  
 墳丘と検出された周溝（黒い土の部分）



しゅうこう なが こ  
 周溝に流れ込んだ土のようす（第4号墳）



ねんど かこ まいそうしせつ  
 粘土で囲まれた埋葬施設（第3号墳主体部）



な まいそう せつかん  
 亡くなった人を埋葬した石棺（第4号墳1号埋葬部）



ししゃ そな かたな や  
 死者に供えられた刀と矢じり（第3号墳主体部）



そな どき  
 供えられた土器（第4号墳第2埋葬部）

とじておきましょう。



## 弥生時代の住居と遺物

古墳時代より前の弥生時代の住まいが見つかり、たくさんの土器が出てきました。これらの土器が埋もれている様子から、家が使われなくなった後に、土器やゴミを捨てる場所として利用されていたことがわかります。

壺などの入れ物に混じって、糸を紡ぐために使った土製の紡錘車も出てきました。



住居跡から見つかった土器のようす



家の跡から見つかった土器①



家の跡から見つかった土器②

## 検出された遺構のいろいろ

今回調査した道路は、昔は馬場道と呼ばれ、殿様が馬で通った道とされています。

第二次大戦の前後には、レンガを焼く粘土を掘り出して、近くの工場までトラックで運んでいました。道路にはタイヤの跡が沈まないように、こわれたレンガやがらくたを敷いているのがわかります。



いまの道路（後方）と昔の道路（前方）



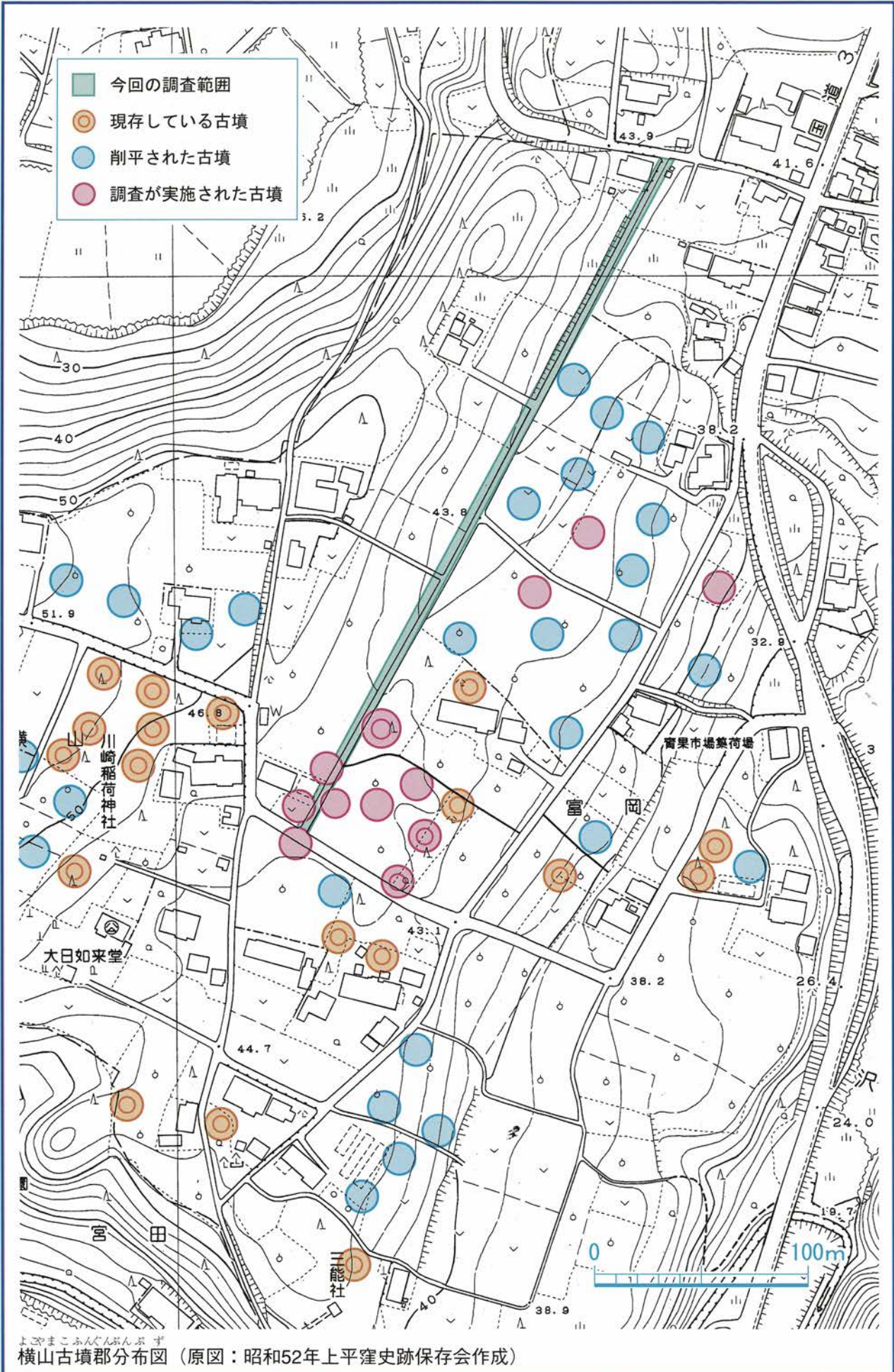
レンガを焼く粘土を運んだ車輪の跡



道路そばの畑から見つかった肥溜めの桶

とじておきましょう。





2021年11月現在